

# 宮代シルバー通信

40

公益社団法人  
宮代町シルバー人材センター  
埼玉県南埼玉郡宮代町山崎3番地  
TEL0480-37-1353 FAX0480-37-1951  
e-mail miyashiro-sjc@rondo.ocn.ne.jp  
会員数 180名(男130、女50)

## 理事会の動き

令和2年9月18日第4回理事会開催。

### 議案

1. 個人情報保護方針(案)及び個人情報の保護に関する規程(案)について
2. 配分金単価改定(案)について

3. 会員の入退会の承認について  
いずれも承認されました。

### 協議事項

1. ボランティア活動について
2. 弔慰金規程について

### 報告事項

代表理事及び業務執行理事の報告、各専門部会の活動報告



びわ 花言葉：溫和・静かな思い

## 各部会長の就任挨拶

### 総務部部会長

鈴木トヨ子

この度、総務部会長になりました鈴木トヨ子です。関根馨さん、春口宣之さんとともに務めてまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

私は現在「グランビューさくらそう」で部屋の清掃と東武動物公園の草取りをしています。高齢になってから週5日(半日)仕事があり、やりがいと健康維持にもなり感謝しています。

総務部会としては、会員増強に力を入れたいと思います。宮代町民の中で当センターの事業内容を知らない方が多いと思われるので、一人でも多くの方に知っていただくよう会員の皆様には是非口コミで広げていただき、会員勧誘をお願い致します。その事が地域班の充実にもつながっていきます。

また、総会の運営、配分金単価及び、諸規程の検討等も行います。

### 事業部部会長

東嶋紘一

事業部会長の東嶋紘一です。事業部会の主目標は昨年策定の「中・長期計画」にある当センターとしての新たな仕事作りです。「干し柿事業」は新事業として漸進していますが、このような宮代町の特長を持つ新たな事業もぜひ見つけたいと思っております。

先日、役場からふるさと納税返礼品としてシルバー人材センターが寄与出来ることのあるのではとの照会を受けました。このような行政との連携も大切ですし、会員皆様に日頃の仕事の中で新たな仕事につながりそうな情報の提供をしていただき、新事業の開拓につなげたいと考えております。併せて就業先の開拓も当センターの発展を図る上で重要なことです。会員の皆様にもご協力をいただき、地域に根ざしたセンターにしていきたいと思っております。

### 広報部部会長

葛西博行

宮代町シルバー人材センターは、地域に密着した幅広い事業を通して皆様から頼りにされ、「地域になくてはならない存在」となるようこれまで以上に取り組みを検討・実施していくことが必要です。

当センターの課題の一つは「会員拡充と就業拡大」です。

広報部会はその使命を踏まえ、町民や企業等の皆さまにセンターの理念や事業内容を広く知っていただくため、双方の架け橋となるような活動を積極的に展開することが課題の解決に大切なことと考えます。

この2年間は「中・長期計画」に沿って①町広報紙等を活用した普及啓発活動を進め②PRに欠かさないホームページを活用して60歳代へのアピール力を高め③社会貢献としてのボランティア活動の推進に取り組んで、当センターの更なる発展をめざします。

「皆さん、どうぞご安全に！」

### 【紙面案内】

- 1頁 理事会の動き・各部会長の就任挨拶
- 2頁 安全適正就業委員会・事故防止啓発

- 3頁 「安っさん」と干し柿・歳時記・事務局便り
- 4頁 会員による投稿・職場便り



## 安全・適正就業委員会より

委員長 梅澤俊雄

## 委員長就任挨拶

平成2年度から安全・適正就業委員長を拝命いたしましたトクホン班の梅澤俊雄です。

委員は、東嶋紘一さん（ぐるる班）太田盛久さん（植木班）真砂佳典さん（草刈班）、岡上好男さん（植木班）の4人です。岡上前委員長の意思を継ぎ、会員の皆様に安全に就業して頂けるよう安全に係る啓発活動、安全就業への注意喚起、作業環境点検・整備等を微力ながら務めさせていただきます。

今年度の活動目標は昨年に

引き続き「安全パトロールの強化」です。

朝のミーティング実施状況、安全用具・装備、熱中症対策、交通安全対策等の安全チェックがなされているかをポイントに各職場を視て歩きたいと考えています。

## 安全対策の留意

当センターの会員は60歳以上（平均年齢75歳）の高齢者です。我々が今後仕事をしていく上で、真っ先に優先することは「安全」を保ち「楽しく仕事をする」ことです。この目的を達成するには

一人一人が健康でなければなりません。

さらに重要なことは「怪我」をしないことです。通勤途上の事故（自転車・自動車・徒歩）、使用機械・道具による事故、高所作業での事故、蜂等による事故などに遭わないように注意してください。

我々高齢者が安全に健康で楽しく働くために、会員の皆様には日々自身の健康に気をつけ、仲間の体調を気遣い、安全に留意し、無理な作業を極力なくし、仲間との会話を交えながら仕事に向き合ってください。

## 事故防止啓発

関根事務局長

全国シルバー人材センター事業協会の調べでは、平成30年度の事故件数は4,656件発生しています。うち重篤事故や入院を伴う事故は1,312件発生しております。また、死亡事故が43件発生しておりますが、死亡事故については、前年度の死亡事故が30件、前々年が18件でしたので、大幅に増加している状況です。

事故件数のうち928件（約20%）が植木業務です。死亡事故も11件（約25.6%）が植木業務となっています。事故の多くは、転落と転倒で、2,166件、全体の45.7%を占めております。

原因は、年齢による筋力の低下、バランス感覚の低下が考えられますので、日ごろから適度な運動をして体力づくりを心がけましょう。

埼玉県内では、事故件数301

件、重篤事故や入院は85件、死亡事故が3件発生しております。

当センターでも重篤事故が発生いたしました。やはり植木作業の方です。三脚が傾いたため三脚から飛び降りたとき背中から落下し、背骨を骨折するという大きな事故となってしまいました。幸い命に別状はありませんでしたが、回復には時間がかかると思われます。

当センターでは、安全・適正就業委員会と協力して、剪定作業に従事する方を対象に安全対策会議を事故発生後3日目に開催いたしました。21名の方が参加し、コロナ対策を施した会場で実施しました。落下という重大な事故に全員一様に驚いておりましたが、安全・適正就業委員長からは、「作業前には必ず剪定作業用

のチェックシートを利用して、作業前の心の準備をしてから作業に取り掛かっていただきたい」と話されておりました。事故は必ず起こるものだとは心にとどめて作業に取り組んでいただきたいとも伝えました。

今まであまり身近なところで重大事故を経験していなかったため、今回の事故をきっかけにより安全な方法や準備をして作業をしていただきたいと思います。

全国シルバー人材センター事業協会では、安全就業を推進し実行しているセンターを毎年表彰しております。

当センターも安全対策の留意のもとに、事故のない就業を促進することにより、全国シルバー人材センター事業協会の優秀賞を勝ち取るべく安全就業を推進しましょう。

「いつまでも、働く喜び、無事故から」



# 「安っさん」と干し柿

川田正義



私の干し柿の原点は、以前に紹介した信州の少年時代の1ページです。

さて、私が宮代町に住んでから干し柿を作り始めたきっかけは、「安っさん」との出会いです。「安っさん」とは白岡市柴山で私の義父の実家を継いでいる野本安雄氏のことです。

梨畑を4枚所有し、明けても暮れても梨作りに専念してきた男です。難聴で朴訥なところがあり、本家ながら親戚付き合いが下手なところがあったのですが、何故か私とは気が合い、法事の時には私が「安っさん」の前に座らされるのが常でした。

或る時、安っさんから電話があり「川田さん、おれん所に渋柿があるが干し柿作るか」との

ことでした。「作ります」と即答、早速行ってみると本当に見事な「みの渋」が200個ほど収穫されてあったのです。

「安っさん」がわざわざ木に登って取っておいてくれたのです。後日、私なりに作った干し柿を化粧箱にきれいに並べて「出来ました」と持っていくと「えっ！これ川田さんが作ったの」とオーバーに喜んでくれ、親戚中に「川田さんの干し柿はすばらしい」と宣伝し、他の親戚から「作り方を教えて」と連絡が来る始末。

そんな「安っさん」から「今年川田さんが来て、柿を取ってくれるか？俺、柿の木から落ちて娘から【もう木に登ってはダメ】の禁止令がでてしまった

んだ」とのこと。数年前から私が三脚に上って取っていた次第。

屋敷の中には大きな銀杏の木があり、農協で売るほど取れたり、キウイフルーツを作って販売したり、最近アボカドの苗を植えて自慢したりして、手広く活動していたが、先日、急の訃報に接し、ただただびっくり、死因は心筋梗塞とのこと。

いつも汚れた作業着に身を包んで本家を守り続け、80歳の生涯を終えた「安っさん」でした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

私の手術、安っさんの急死、コロナと猛暑(?)三密ならぬ三難続きで今年の干し柿作り事業の行方は如何に…

## 会員Tさんによる歳時記

宮代町には年間を通して地区によって異なる歳時記がありますが、Tさんによる歳時記です。皆さんの地域の歳時記と比べて見てください。

月	日	行事	主にお祝いする食べ物
1	1	元日	おせち、餅、雑煮
	15~16	その年の豊饒を祈願	薩玉団子、あずきがゆ
2		初午(はつうま)	赤飯、甘酒、しもつかれ(煮物)
3	3	ひな祭り	草餅、甘酒(もち米のみ)
		彼岸	きな粉おはぎ
4	8	西光院御影供(みいぐ)	塩あんびん
5	5	端午の節句	柏餅(柏の葉が6月収穫の為月遅れで行う)
7	1	初山、浅間神社	赤飯
	20	姫宮神社 祭り	赤飯
8	7	月遅れ七夕様	小麦饅頭、梨、うどん
	15	お盆	朝:おはぎ 昼:うどん 夜:ごはん供える
9	1	二百十日	赤飯
	15	十五夜(月見)	まるいも
	19	彼岸入り	おはぎ(あんこ)
10	13	十三夜	栗、柿、ひもかわうどんを供える
11	20	恵比寿講	魚、けんちん、ごはん供える。
12		冬至	冬至ゆず、かぼちゃ、こんにゃく、ゆず湯

## 事務局だより

### 配分金の支払いについて

10月分 11月16日 年末年始の履行確認書に  
11月分 12月15日 つきましては、郵便受け  
12月分 1月15日 に投函して下さい。

### 会員募集のお知らせ

入会説明会を毎月第2火曜日に開催しております。町内のお知り合いの方にご案内下さい。いずれも宮代アリーナ軽体育室で午後1時30分から開催いたします。



11月10日(火)  
12月8日(火)  
1月10日(火)

### 事務所休業日

年末年始(12月29日~1月3日)事務所は休業となります。営業開始は1月4日からなります。

### 8月・9月入会者名

藤野 操さん 加納善夫さん  
香取 賢さん 柳田静子さん  
以上の4人です。





投稿

ふと、こんな詩が目にとまりました

詩人/童謡作家 高橋忠治

道  
 どこどこ歩いてふりかえり  
 どこどこ歩いてふりかえる  
 うしろの道にもまえの道にもおびぎをしたい朝です

この詩は、過去と未来の人たちに向かって、いつも感謝する気持ちを詠んだのではないかと思います。私たちが振り返ると

歩いてきた道には、いろいろな人たちに巡りあいお世話になってきました。

「ほんとうにありがとう。」

の感謝の気持ちです。

これからもお世話になる人たちがいます。私たちにあって当センターの皆さんもその中の人々です。今、皆さんが歩いている道は、延々と続いていきます。これからの人生も感謝の気持ちをもって、共に元気で、楽しく、前を向いて歩いていこうではありませんか。

(ある会員から)

職場だより

ふれ愛センターの巻



ふれ愛センター全景

ふれ愛センター班は平成2年に西原自然の森の一角に建設された児童館及び老人福祉センター「ふれ愛センターみやしろ」の公園管理として、宮代町から宮代町シルバー人材センターの前身高齢者福祉事業団が受託して出来た班と伺っています。

当初の作業区画はゲートボール場、日本庭園、竹林、アスレチック広場、芝生広場、駐車場、中庭、裏庭、園路、屋上と10

植木、樹木等の剪定等、公園管理作業全般を毎日5人で大規模に行っていたとの事です。

その後、紆余曲折を経たあと3年ほど前に「ふれ愛センターみやしろ」は閉鎖され、残った園庭は「西原自然の森」として存続し、郷土資料館の管理下で



アスレチック広場

「ふれ愛センター班」が作業継続しております。

現在の定常作業区画はゲートボール場、アスレチック広場、芝生広場、駐車場及び園路5区画に絞り、他区画は必要最低限にし、草取りは機械刈り、剪定作業は回数削減と作業方法を軽

減しています。皆さんが集合できる2~3日を毎日の計画とし、高齢でも作業できることを念頭に仕事をしております。

一日の作業は車が入る前の駐車場の掃き掃除に始まり園路掃き掃除を定常作業とし、時節に合わせた各広場の除草、生垣や樹木の剪定等を組み合わせて行っております。

なお、今後は既報の通り、宮代町の「ふれ愛センター再活用プロジェクト」の本格稼働で今秋には改修工事がスタートします。ふれ愛センター班も新たな展開が予想されております。

横山 功



竹 籬

編集の小径

▼毎年秋発行のシルバー通信は、シルバー祭り関連で紙面が賑やかでしたが、残念ながら今回はコロナで祭りが中止になり、いつもの秋号より静かな内容になっている感じがします。しかしながら、皆様のご協力をいただき今回の第40号を発行することが出来ました。

昨年皆様にシルバー通信についてアンケートをいただきました。その中に会員参加の紙面づくりを希望するご意見が多くありました。この通信は、会員とセンターと編集委員の三者で作りに上げていくとい

う基本方針があります。今後も編集委員会よりテーマによって原稿執筆のお願いをさせていただきます。また、皆様の自発的な随筆、俳句等も、大歓迎ですのでお寄せいただきますようお願いいたします。以上の積極的な参加とご協力を切にお願いいたします▼秋も深まりつつあります。私たちは、大変暑く危険な夏を乗り越えてきました。この秋の爽やかな空気を吸って体調を整えておきましょう。コロナもまだまだ終息に向かったとはいえません。身体に十分注意しながら基本行動を徹底していきましょう。(K)